

1. 調査の名称

環境適応型ノリ養殖対策試験（組み替え新規）

2. 調査実施主体

熊本県（水産研究センター）

3. 調査の目的

ノリ養殖業の安定を図ることを目的として、近年の高水温傾向等の環境変化に対応した多様な品種の開発及び、環境負荷を軽減する養殖技術の開発を行う。

4. 調査計画の概要

① 色の良い本等級のノリづくり（優良品種の選抜育種、実用化試験）

- ・ 選抜育種により、耐高水温性及び耐色落ち性品種の改良等を行うとともに、耐低比重性品種の作出を行う。
- ・ 作出した品種を県漁連をととして養殖業者に配付し、育成データを収集して問題点の抽出を行うとともに、再選抜などにより、品種の改良及び定着を図る。

② 環境負荷の少ない酸処理手法の検討

- ・ 環境への負荷を削減するため、昨年、酸処理剤の成分基準の見直し等が行われているが、さらに、酸処理剤の使用量の削減手法を検討する。

③ 海域の水温、比重、栄養塩量等の環境変化とノリ色素量の変動調査

- ・ 環境変化による色素量の変動を把握し、色落ちの原因究明のための資料とする。

④ ノリ漁場における疾病の発生状況把握及び精密調査

- ・ 精密調査では、特定の漁場に限定して、あかぐされ病菌の経時変化を把握し、養殖管理を指導するための基礎資料とする。

5. 特別措置法第18条第1項各号との関係

第8号に該当する。